

UD トラックス株式会社

OpenText Fortifyを活用した大規模 AppSec プログラムにより、ISO に準拠しながら、数百もの新規アプリケーションを導入。



UD トラックスについて

UD トラックス株式会社は、60 か国以上に商用車両を供給している日本の自動車製造会社です。本社は埼玉県上尾市にあります。

戦略的パートナーシップにより、アプリケーションが急増し、セキュリティ上の懸念が浮上

e コマースの成長により、物流業界では 2030 年までに小荷物配達の需要が 50% 増加すると予測されています。その一方で、排出ガス問題やドライバー不足も深刻化しています。UD トラックスは、自動化の導入に

「AppSec プログラムの進捗と影響に関して、とりわけ、特に Fortify によって成し遂げられた業務に関して、非常に満足しています。この分野に関する専門知識を豊富に備えた OpenText が適切にサポートしてくれました。おかげで、当社はシフトレフトの開発文化を築き、リスクを低減しながら、継続的にアプリケーションを改善できるようになりました」

Saritha Auti 氏
グローバル最高情報セキュリティ責任者
UD トラックス株式会社

よってコネクティビティとデジタル化を強化することで、よりスマートな輸送を実現できると考えています。世界の商用車両業界において新たな価値を創出するため、AB VOLVO といすゞ自動車は戦略的パートナーシップを締結しました。その一環として、海外市場の強化を図るため、いすゞ自動車は VOLVO 傘下の UD トラックスを買収しました。

UD トラックスのグローバル最高情報セキュリティ責任者である Saritha Auti 氏は次のように説明します。「UD トラックスはボルボグループを離れ、ビジネス戦略にも変化が生じています。そのため、UD トラックスに関連するビジネスプロセスとアプリケーションを特定して分離する必要がありました。また、新しい UD トラックスの環境に移行する際にインフラストラクチャとアプリケーションのセキュリティを確保するサイバーセキュリティ機能も必要でした。そのため、これを機に DevSecOps 環境を導入し、悪用可能な脆弱性を完全に排除したうえでアプリケーションを運用環境にリリースするようにしました。ビジネスのバリューチェーン全体を通じてデータのセキュリティを確保するためには、まず安全なソフトウェアコードを作成することが重要です。そのため、アプリケーションセキュリティと DevSecOps を何よりも優先課題としました」



概要

業種

製造

所在地

日本

課題

包括的な AppSec プログラムを構築し、セキュリティを極めて重要視する環境で数百ものアプリケーションを容易に導入できるようにする

製品とサービス

OpenText™ Fortify™

成功ポイント

- 効果的な脆弱性管理プロセスと包括的なガバナンスを備えた安定したアプリケーション環境
- その由来や成り立ちに関係なくあらゆるアプリケーションに対応する、単一の標準化された一貫したアプローチ
- ISO への完全準拠により、ビジネス継続性を確保
- アプリケーション品質の向上により、保守コストを削減
- シフトレフトの開発により、継続的な改善とリスク低減を実現

Fortify の優れた機能と効果的な コラボレーションにより、 一貫したアプローチを実現

サイバー脅威を取り巻く環境は常に変化し続けています。そこで、UDトラックスは、脆弱性の参照ベースラインを定期的に更新することに注力しているベンダーのソリューションを希望していました。同社で利用されているアプリケーションは、製造プロセスにとって重要なメインフレームベースのレガシーアプリケーションから、顧客やサプライヤー側で使用する Java や Windows ベースの最新アプリケーションまで幅広く、こうしたアプリケーションのすべてに対応できる統一されたプロセスが求められていました。工場の組立ラインでは、2,000 を超える RPA (Robotic Process Automation) スクリプトが使用されており、このすべてのスクリプトをサポートするソリューションが必要とされていました。

「OpenText™ Fortify™ は、当社が求めるすべての要件を満たしており、また競合製品よりも明らかに優れていることがわかりました。しかも、当社のセキュリティチームの主要所在地で現地サポートを受けることも可能でした」と、Auti 氏は述べます。「OpenText のチームは製品知識が豊富で、当社のセキュリティ体制を強化する最適なパートナーになってくれるのではないかと考えました。概念実証 (POC) を通じて機能を確認し、包括的なスコアリングテンプレートに基づいて、OpenText を選択しました」

Fortify を利用すると、企業は社内の開発文化に AppSec を取り入れて、安全性を確保しながら規模を拡大することができます。UDトラックスでは多種多様なアプリケーションが使用されていますが、OpenText には、このような多様なアプリケーションサポートフォリオを幅広くサポートする、総合的かつ包括的で拡張性に優れた AppSec プラットフォーム (静的 / 動的コードスキャンなど) を提供してきた実績があります。

AppSec このタスクは難しいものであったため、最も複雑なアプリケーション (コードに関するインサイトがまったくないアプリケー

ション、いわゆる「ブラックボックス」アプリケーションなど) については、OpenText のプロフェッショナルサービスエンジニアが支援しました。Fortify を使用してコードをスキャンすることで、コードに関するインサイトを獲得し、徹底的なリスク評価を行うことができました。OpenText は迅速な対応で UDトラックスをサポートし、UDトラックスの環境と Fortify をホストするプラットフォームとの統合を実現しました。これにより、UDトラックスのアプリケーション開発チームは、自ら簡単に Fortify のスキャンングを利用できるようになりました。

一方、UDトラックスのセキュリティチームは、セキュリティの重要性や堅牢なコードの構築方法について、さらにはソフトウェア開発時にコードの脆弱性を回避する方法について、一連のワークショップを通じて社内のアプリケーションオーナーにトレーニングを提供するという大仕事に注力していました。「このような大規模な変更を行う際には、プロセス、人、テクノロジーの足並みを揃えて、全員の意思統一を図ることが不可欠です」と、Auti 氏は述べます。「だからこそ、混乱を避けるために、すべてのアプリケーションに対応する、標準化された一貫したプロセスを構築することも非常に重要だったのです。」

ISO への完全準拠、保守コストの削減、 シフトレフトの開発文化

Auti 氏は次のように続けます。「Fortify により、包括的なガバナンスに支えられた、安定したアプリケーション環境と効果的な脆弱性管理プロセスを手に入れることができました。これは極めて重要なことです。特に日本では、ISO のセキュリティ規格に準拠して商業活動を行う必要があるためです。ISO のセキュリティ規格に準拠しなければ、トラックを販売することはできません。準拠しない場合のコストが極めて高くなるため、包括的な AppSec プログラムを導入するために必要な取締役会の同意を容易に得ることができました」

Auti 氏は、Fortify の導入によって得られたもう1つのメリットとして、アプリケーションの保守コストの削減も挙げています。Fortify 導入以前は、アプリケーション修復プログラムを継続的に運用することでアプリケーションの脆弱性に対応し、その影響を可能な限り最小限に抑えていました。しかし、Fortify の導入後は、修復プログラムは不要になりました。脆弱性への対応がソフトウェア開発ライフサイクルに組み込まれているためです。その結果、ソフトウェアの品質も向上しました。強固なベースラインと安



「Fortify により、包括的なガバナンスに支えられた、安定したアプリケーション環境と効果的な脆弱性管理プロセスを手に入れることができました。これは極めて重要なことです。特に日本では、ISO のセキュリティ規格に準拠して商業活動を行う必要があるためです」

Saritha Auti 氏
グローバル最高情報セキュリティ責任者
UD トラックス株式会社

お問い合わせ

www.opentextcybersecurity.com



定したアプリケーション環境が確立されたことで、UD トラックスのチームは、アプリケーションオーナーと開発チームの行動を変える「シフトレフト」の開発文化の確立に目を向けることができるようになりました。

Auti 氏は次のように締めくくります。「AppSec プログラムの進捗と影響、特に Fortify によっ

て成し遂げられた業務に関して、非常に満足しています。この分野に関する専門知識を豊富に備えた OpenText が適切にサポートしてくれました。おかげで、当社はシフトレフトの開発文化を築き、リスクを低減しながら、継続的にアプリケーションを改善できるようになりました」

opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。